

# 「島間小学校の伝統芸能の伝承活動の取組」

## 1 学校名

南種子町立島間小学校

## 2 学年・人数

全校児童30人

## 3 日時・場所

### (1) 練習の日時・場所

令和5年8月～9月 夏休み（3日間），体育の時間・体育館

### (2) 発表の日時・場所

令和5年9月17日（日）校区合同運動会（全校児童：校庭）

令和5年11月2日（木）かごしまの教育県民週間（全校児童：体育館）

令和5年11月3日（金）南種子町ふるさと祭（全校児童：町運動公園）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

「相撲取り節」（すもうとりぶし）

### (2) 由来

江戸時代に伊勢の方から来た人が，種子島家の殿様のお祝いの席で踊ったのが，始まりであるとされています。この踊りには，人々が病気や事故の災いに見舞われないよう，無病息災の祈りと，五穀（ごこく）豊穰（ほうじょう），商売繁盛など，人々が豊かになるようにとの願いが込められていて，今も島間岬神社，上方（うえほう）神社等の願（がん）成就（じょうじゅ）祭（さい）で奉納されています。

### (3) 構成等

相撲取り節の踊りは，出場，中踊り，引場の三部から構成されている。出場は，太鼓を鳴らして全員で歌いながら四列縦隊で入場し，次第に円形の隊列になる。中踊りは，太鼓三人が円の内側で，踊り子が外周を時計回りに前進しながら歌い手の歌に合わせて踊る。引場は，再び四列縦隊になり，全員で歌いながら退場する。

## 5 保存会や地域との連携の具体

運動会で披露する伝統芸能は，田尾集落の公民館長から踊り保存会の方へ連絡してもらい，夏休み期間中に3回（1回につき2時間程度），2学期の体育の時間に2回指導していただいた。踊りは主に，歌い手である男性の指導者が歌や踊りを中心に，もう一人の男性の方が太鼓を中心に熱心に指導してくださった。今年度は，ふるさと祭りでも「相撲取り節」を子供たちが披露した。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本校区は、5つの集落に分かれており、それらの集落に伝わる踊りを3年毎に輪番で行い、運動会等で披露している。今年度は、田尾集落の「相撲取り節」を行うために、7月に田尾の公民館長や踊りに関わる方々と練習計画等について協議した。指導者の方々の都合に合わせ、夏休みは夕方に、体育の時間では、当初の計画を変更して指導していただいた。また、子供の腕力では太鼓を振り回すのに力が必要なために、他の集落の軽い材質で作った太鼓を借りて練習や本番に臨んだ。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- 地域の踊りに参加をしていたため、踊りやすかった。地域に伝わる大切な「相撲取り節」を運動会で披露することができて、とてもうれしい。この大切な踊りを引き継いでいきたい。【5年生児童】
- 踊り、簡単そうに思えたけど、指先や姿勢など、細かいところに気を付けることで、どんどん踊りが美しくなってきた。みんなの声や動きがそろってくると、どんどん楽しくなってきた。【6年生児童】
- 地域の方が熱心に指導をしてくださったので、子供たちの踊りが日に日に上達しているのがよく分かった。上手に踊ったり、歌ったりすることができるようになるにつれて、子供たちも楽しみながら取り組むようになった。地域の伝統芸能を伝えていくためにもよい活動であると感じた。【教職員】
- 本番までの限られた時間の中で、子供たちは熱心に練習を積み重ね、よく頑張りました。子供たちのやる気の一つになり、「チーム島間っ子」を作り上げたと感じています。2回の本番でも物怖じせず、堂々と踊りを披露する勇姿に感動をもらい、とても嬉しく思っています。【保存会から】
- 浴衣にまわしをつけた子供たちの勇ましい立ち姿と元気のよい歌やかかけ声にとっても感動しました。一年目とは思えない程の出来映えで、運動会や町ふるさと祭を盛り上げてくれました。島間地区に伝わる踊りを子供たちが受け継いでくれることに心から感謝しています。【地域の方から】